2021 年度山梨県立大学地域研究交流センター事業
共同研究報告書

外国にルーツのある子どもたちの未来をつむぐ

継続的支援と包括的支援のために

―高校進学ガイダンスの開催とその必要性―

＜研究代表者＞
萩原　孝恵　　山梨県立大学　国際政策学部
＜共同研究者＞
池田　充裕　　山梨県立大学　人間福祉学部
斉藤　祐美　　山梨外国人人権ネットワーク・オアシス
小林　信子　　ユニタス日本語学校
原田　かおり　やまなし子ども学習支援連絡協議会、山梨県立大学非常勤講師
川手　ちなみ　ソルデアミーゴ太陽の友だち

１．　はじめに

山梨県には、日本語指導が必要な外国人児童生徒が 378 人いる[1]（令和 3 年 2 月 1 日時点）。また、県内には不就学の可能性があると考えられる外国人の子どもが 46 人いる[2]。外国にルーツのある子どもたちの保護者の中には、「いずれ帰国するから」という理由で、子どもを学校に通わせなかったり、日本の教育制度に対する理解が乏しかったり無関心だったりするケースもある。しかし、こうした保護者の無知は、その後の子どもの人生に大きな不利益を与えかねない。

本報告書では、大学の地域研究交流センター事業として 2015 年より取り組んできた「多言語による高校進学ガイダンス」（以下、ガイダンス）の実績を、キャリア支援につながる教育支援モデルとして紹介し、ガイダンスの実践と、当該実践の必要性に関する調査結果を示す。そして、県が令和 2 年に策定した「やまなし外国人活躍ビジョン」[3]に記載された図 1 左の、連絡を取って協力し合う〈連携〉から一歩進め、実際につながり・つながる〈連係〉が必要であることを提言する。

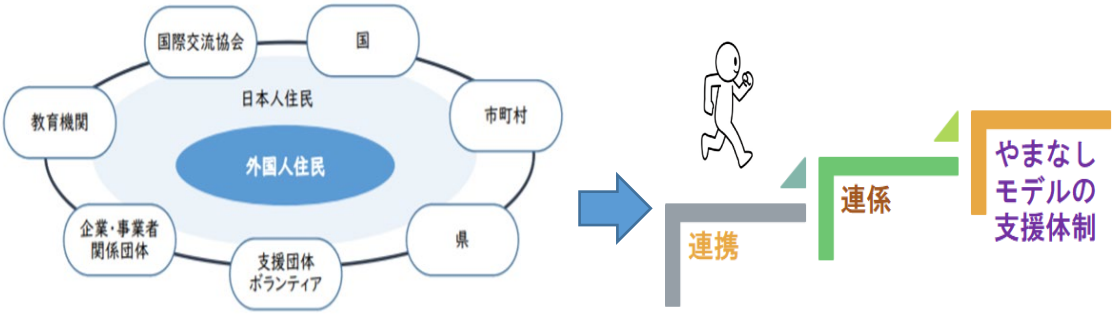


図 1　「やまなし外国人活躍ビジョン」(p. 25)で示された〈連携〉から〈連係〉へ

２．　なぜ高校進学ガイダンスが必要か

この問いに対する答えは、高校卒業資格の有無がその子どもの将来の「在留資格」に大きく関わってくるからである。外国籍の子どもたちの多くは、「家族滞在」という在留資格で日本に滞在している。しかし、「家族滞在」では正規（フルタイム）就労が認められない。「定住者」や「特定活動」に在留資格を変更したい場合には、「高校卒業資格」が問われる（次頁図 2）。保護者の中には「中学を卒業したら働いてもらいたい」という考えの保護者もいるであろうが、外国籍の子どもたちの進路進学やキャリア支援において、図 2 に赤で囲んだ「要件」（「高校卒業」「卒業」「卒業＋日本語能力 N2」）を保護者と本人に必ず伝え、それをしっかり理解したうえで相談していくことが重要である。

---

[1] 山梨県教育委員会「令和 3 年度第 1 回 外国人児童生徒支援連絡会議」資料より。
[2] 注 1 と同資料「外国人の不就学状況等調査実施」（調査期間：2019 年 5 月 16 日～6 月 14 日）より。
[3] 山梨県「やまなし外国人活躍ビジョン～外国人の皆さんにとって『第 2 のふるさと』となる県を目指して～」（令和 2 年 2 月策定）[https://www.pref.yamanashi.jp/kokusai/ vision.html, 20210518 閲覧]より。

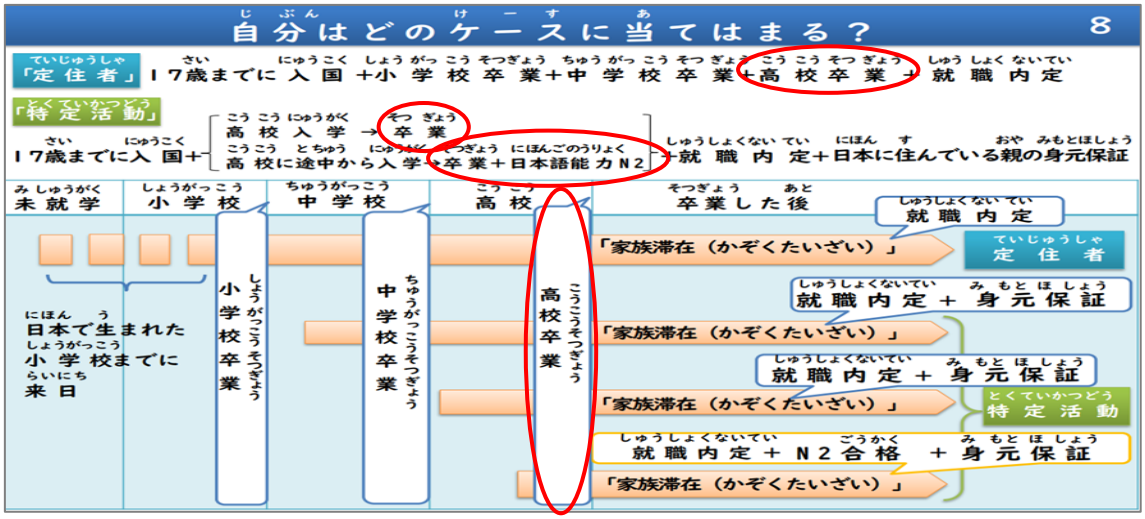


図２　「外国籍の中学生・高校生のみんなへ ～将来就職して働くために～」
（東京出入国在留管理局在留支援部門、スライド 8、筆者赤丸）[4]

また、東京出入国在留管理局在留支援部門は、図 3 のような「共生社会の基盤整備に向けた取組」のイメージ図を示し、ライフステージごとに「必要な支援の例」を紹介している。本チームが 2015 年度より継続して行ってきた「多言語による高校進学ガイダンス」は、少年期に必要な支援の例に該当するものであり、「情報提供や多言語対応」「教育・キャリア形成」に対応するやまなしモデルを構築し、回を重ね検証してきた取組であるといえる。



図３　「（資料 1）有識者会議における重点事項及び論点の整理」
（東京出入国在留管理局在留支援部門、スライド 2、筆者赤丸）[5]

---

[4] FRESC 外国人在留支援センターHP [https://www.moj.go.jp/isa/content/001364789.pdf, 20220315 閲覧]　当該資料の動画が公開されている。動画視聴［https://www.youtube.com/watch?v=82vcq1GB_Cc&list=PLSmkcN62qni4kztEIJM4lPPd1f］

[5] FRESC 外国人在留支援センターHP [https://www.moj.go.jp/isa/content/001342222.pdf, 20220315 閲覧]

２．１　多言語による高校進学ガイダンス開催の概要（2015 年～2021 年度）

本チームは、実践的な取組として、外国人保護者が「日本の教育制度」（特に高校に進学して卒業することの重要性）を母語で理解し、保護者の理解のもとに子どもたちが進路を選択できるようにすることの大切さを伝えるべく、「多言語による高校進学ガイダンス」を開催してきた。本取組は、外国にルーツのある子どもたちの未来をつむぐ継続的支援である。2015 年に初めて山梨県で開催した時から数えて、今回で 11 回目となった。

以下、第 1 回目からのデータを更新する形で、今年度（2021 年度）実施した「多言語による高校進学ガイダンス」の概要を報告する。表 1 は、第 1 回～第 11 回（2015 年度～2021 年度）までの参加者一覧である。図 4 は、参加者数の推移と参加者の国籍である。視覚的に捉えやすい図 4 により、これまでの参加者数の推移を報告する。

表 1　参加者一覧（第 1 回～第 11 回）

回数	開催日	参加者															見学者	合計
		アメリカ	アルゼンチン	インド	台湾	中国	日本	フィリピン	ブラジル	フランス	ベトナム	ベネズエラ	ペルー	モンゴル	不明	小計(組数)		
1	2015年11月29日	1	0	0	1	2	3	0	7	0	0	0	0	0	0	14	11	25
2	2016年7月3日	0	0	0	0	10	1	0	6	0	0	4	6	0	0	27	3	30
3	2016年10月30日	0	0	1	0	5	1	0	5	0	3	2	2	0	0	19	5	24
4	2017年7月2日	1	0	0	0	14	2	2	5	2	0	2	0	0	0	28	6	34
5	2017年11月12日	0	3	0	0	0	1	1	10	0	4	2	2	0	0	23	5	28
6	2018年7月8日	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	0	3	0	0	11	4	15
7	2018年11月4日	0	0	0	0	5	1	2	8	0	0	0	2	0	0	18	7	25
8	2019年6月30日	0	0	0	0	5	0	0	13	0	0	0	0	0	0	18	10	28
9	2019年11月17日	0	0	0	0	12	2	2	15	0	2	0	8	0	0	41	7	48
10	2020年11月8日	0	0	0	0	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	8	5	13
11	2021年11月14日	0	0	0	?	?	0	1	10	0	0	0	1	1	3	16	2	18

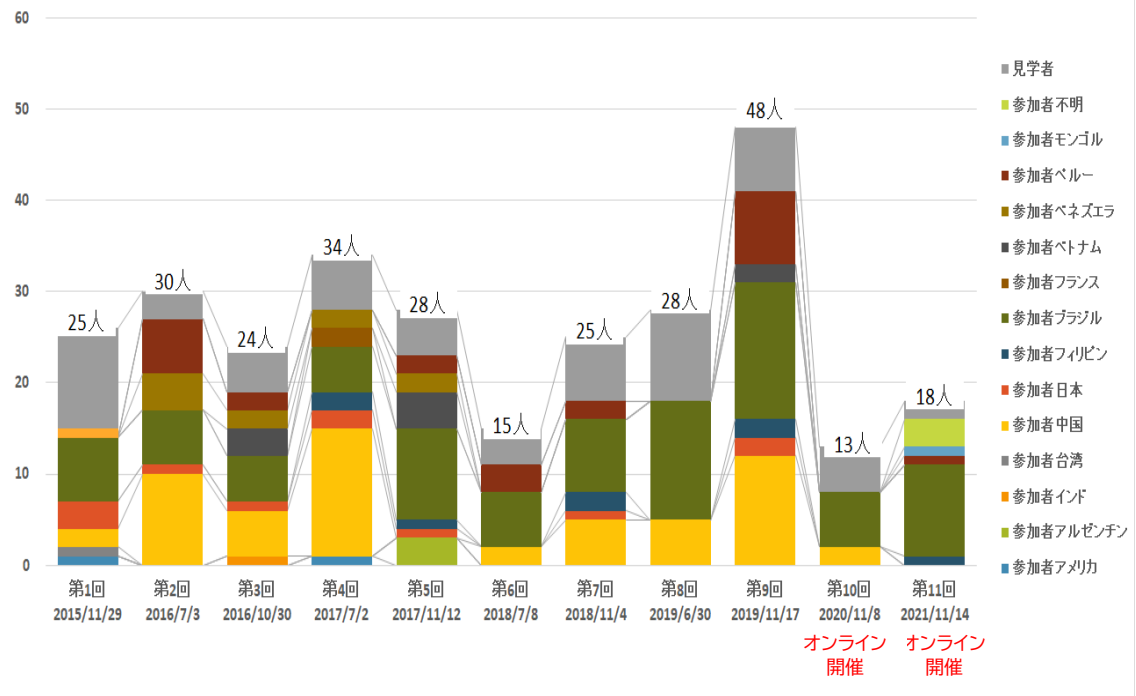


図 4　参加者数の推移と参加者の国籍（第 1 回～第 11 回、参加者延べ 288 人）

これまで最も参加者数が多かったのは、本学を会場として開催した第 9 回（2019 年 11

月）で、48 人であった。第 10 回（2020 年 11 月）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、初めてオンラインで開催した。この年のガイダンスは、全国的に中止になるところが少なくない中での、試行錯誤による開催であった。参加者は 13 人と激減した。そして、今年度も新型コロナウイルス感染症は収束せず、オンラインでの開催となった。2020 年と比べるとわずかに増え、参加者は 18 人であった。これまでの参加者数は延べ 223 人となり、見学者も含めると延べ 288 人となった。

次に図 5 で、参加者数と参加者の国籍状況の結果を報告する。参加者で最も多いのがブラジルで 91 人（41%）、次が中国で 57 人（26%）、3 番目がペルーで 24 人（11%）である。ブラジル、中国、ペルーを合わせると 78%になり、この 3 か国でほぼ 8 割を占める。ガイダンスに参加した国籍の状況から、山梨県で進路進学支援が必要な国籍群が示唆される。ここで注目すべき点は、山梨県内の在留外国人の国籍群とガイダンス参加者の国籍群とが一致しない点である。「山梨県内の在留外国人数」（2021 年 6 月末現在）は 17,185 人で、1 位中国 3,722 人（22%）、2 位ブラジル 2,896 人（17%）、3 位ベトナム 2,729 人（16%）、4 位フィリピン 2,019 人（12%）、5 位韓国 1,649 人（10%）である [6]。しかし、本県におけるガイダンスのニーズは、現段階ではブラジル・中国・ペルーであり、この傾向が国籍別人口ピラミッドを反映しているものなのか否かについては今後確認が必要である。

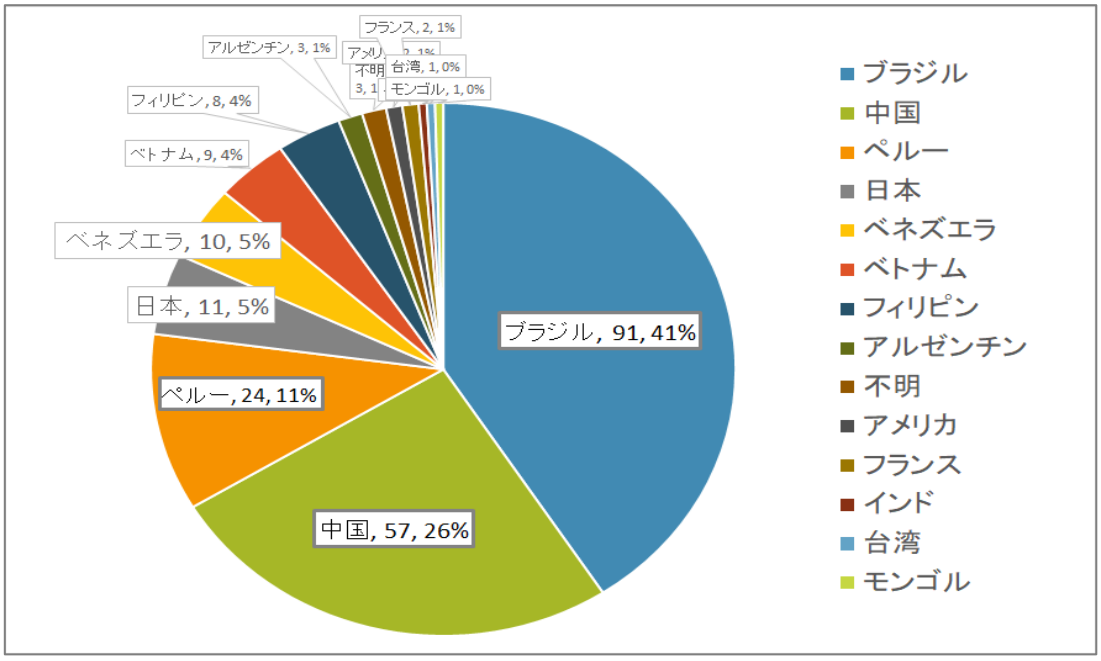


図 5　参加者数の推移と参加者の国籍（第 1 回～第 11 回、参加者数延べ 288 人）

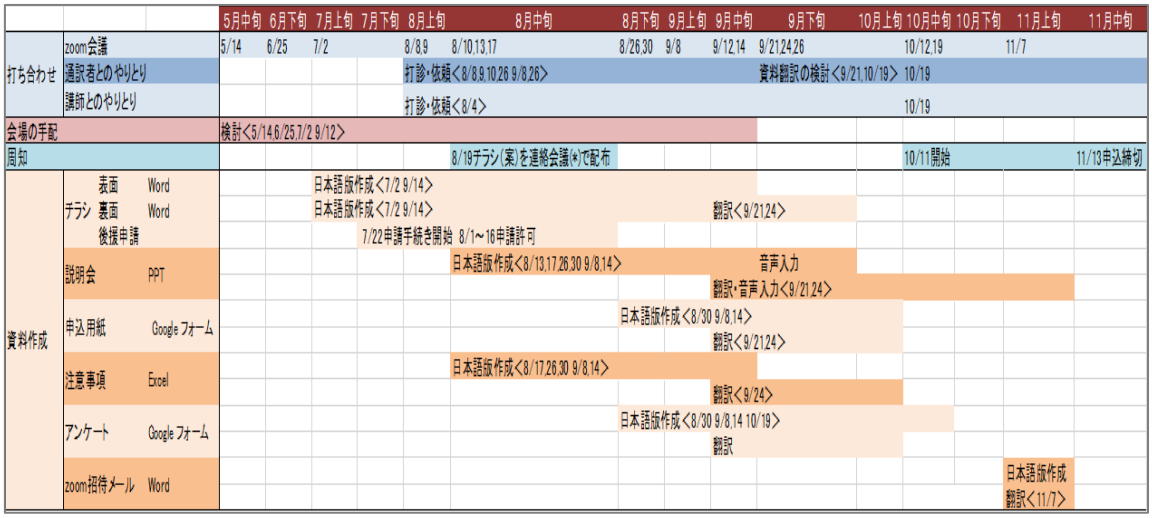
2．2　オンラインガイダンスの運営

2021 年度のガイダンス工程表を表 2 に示す。初めてオンラインガイダンスを開催した

[6] 山梨県国際交流協会「山梨県内の在留外国人数」（2021 年 6 月末現在）[https://www.yia.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2022/01/gaikokujinsu_2021-6.pdf, 20220321 閲覧]

2020 年度との工程の違いは、資料作成開始時期を 1 か月早めた点と、説明資料の見直しを行い改善した点である。

表 2　オンラインガイダンス開催 工程表（斉藤・原田作成）



また今年度は、2020 年度のオンライン開催での反省を踏まえ、リハーサルを 3 回行った。以下にリハーサルとガイダンス当日の実施概要を示す。

≪リハーサル≫

（1）2021 年 9 月 12 日（日）13:30～17:15　@一宮保育園（笛吹市）
　　参加者：園関係者 1 人、講師 1 人、スタッフ 5 人　計 7 人

（2）2021 年 10 月 19 日（火）20:00～22:00　@zoom
　　参加者：講師 2 人、通訳者 6 人、スタッフ 5 人、計 13 人

（3）2021 年 11 月 7 日（日）13:30～17:00　@一宮保育園（笛吹市）＆zoom
　　参加者：園関係者 1 人、講師 1 人、通訳者 3 人、スタッフ 5 人、計 9 人

～第 11 回多言語による高校進学オンラインガイダンス概要～

（1）日時　　2021 年 11 月 14 日（日）13：00～16：00（終了 17:00）
（2）開催方法　　Zoom
（3）申込方法　　事前申込制（URL もしくは QR コードからアクセス）
（4）事前申込　　21 人
（5）当日参加者　　18 人（ブラジル 10 人、フィリピン 1 人、ペルー1 人、モンゴル 1 人、不明 3 人、見学 2 人）
（6）冊子配付　　事前に希望者には「山梨県の高校進学ガイダンス」（7 言語対応）を郵送
（7）発信会場　　一宮保育園（笛吹市）
（8）情報提供　　母語別にブレイクアウトルームで実施
（9）スタッフ　　通訳者 6 人、講師 2 人、協力者 1 人、スタッフ 5 人、計 14 人

（10）後援　　山梨県教育委員会、山梨県国際交流協会、甲府市教育委員会、中央市教育委員会、笛吹市教育委員会、南アルプス市教育委員会

協力　　一宮保育園、山梨外国人人権ネットワーク・オアシス、ソルデアミーゴ太陽の友だち

≪実施内容≫

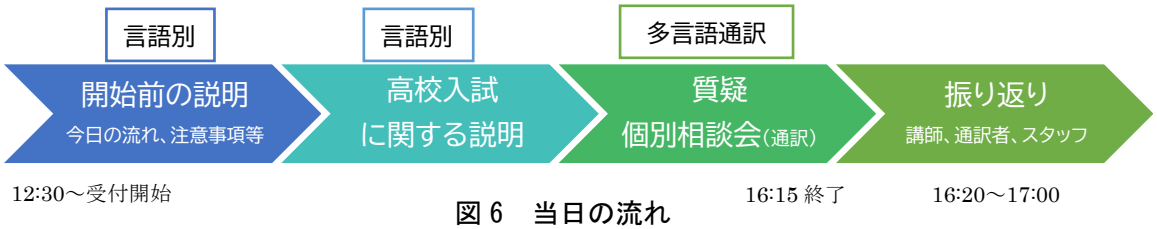


図 6　当日の流れ

図 6 に示した当日の流れについて説明する。当日は 12:30 より受付を開始した。入室後に「開始前の説明」スライドを言語別ブレイクアウトルームでそれぞれ流した。13:00 から「高校入試に関する説明」スライドを言語別ブレイクアウトルームでそれぞれ流した。各言語でのスライドによる説明が終了した後、メインルームに移動してもらい、多言語による質疑応答を行った。その後、個別相談会に申し込んだ人は、通訳を介して小中学校の先生方が対応した。終了後に、講師・通訳者・スタッフによる振り返りを行った。

図 7 は当日のオペレーションである。今回のガイダンスでは Zoom を使用し、メインルームに司令官一人が待機し、入退室・ブレイクアウトルームへの移動・トラブル対応などのサポートをした。使用言語は、事前申込から、やさしい日本語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・英語対応の各部屋を準備した。



図 7　ガイダンスのオペレーション体制と全体会の様子（2021 年 11 月 14 日）

２．３　ガイダンスの開催方法とオンライン開催の有用性

ガイダンス終了後に、Google-Form によるアンケート（5 言語対応）を実施した。回答数は 8 件で、日本語 5 件（うちスタッフ 2 件）、ポルトガル語 3 件であった。質問は 6 問で、報告書への掲載許諾に関して同意を得た。本報告書では、参加者 6 件の回答に絞って報告する。

≪質問≫

1. 今日はどこから参加しましたか。
2. 今日は何を使って参加しましたか。（複数回答可）
3. オンラインガイダンスで何か困ったことがありましたか。（複数回答可）
4. 来年またガイダンスがあるとしたら、どちらに参加したいですか。
5. どうしてオンラインで参加したいですか。（複数回答可）
6. ガイダンスに参加して感じたこと・気づいたことを自由に書いてください。

＊回答は報告書に載せることがあります。誰が答えたかわからないようにします。載せてもいいですか。

≪回答≫

1. 甲府市 4、富士吉田市 1、大月市 1
2. スマートフォン 4（67%）、パソコン 2（33%）
3. 画面がフリーズした 3、声が聞こえないときがあった 1、特になし 3
4. オンラインで参加したい 6（100%）
5. どこからでも参加できるから 4、移動しなくていいから 3
6. a. 山梨県の中、住んでいる所に近い高校学校いくつありますか、情報あればもっと助かります。いろいろ情報を初めて聞きました。ありがとうございました。[7]

   b. 通訳のサポートがありまし、良かったです。細かい情報も参考になります。

以上 1～6 の回答から、次回開催時に向けた課題を整理すると次のようになる。

- パソコンよりもスマートフォンで参加している人が多い状況から、スマートフォンで資料がどう見えるのか等の確認が必要である。
- 6 名の回答者全員が「オンラインで参加したい」を選択し、その理由として「どこからでも参加できるから」「移動しなくてもいいから」という意見であったことから、今後会場でのガイダンス開催が可能になったとしても、オンラインガイダンスのニーズについても心に留めておく必要がある。
- 6a の記述から、現在協力してくださっている講師がいずれも甲府市内の教員であるため、今後は他地域の教員協力者を見つけていく必要がある。また、高校や高校教員の参加や協力を得るにはどうすればよいかを考える必要がある。
- 6b の記述から、通訳は担任にお願いすれば付けてもらえるはずなのだが、そうした情報が保護者に十分に伝わっていないようである。以前のガイダンス開催時に配付した「通訳お願いカード」のようなものを再度検討し準備したほうが良いかもしれない。

[7] 6a, 6b ともに回答ママ。

３．　誰が「高校進学ガイダンス」を行うか

３．１　文部科学省の指針

2015 年度より継続して取り組んできた「高校進学ガイダンス」であるが、そろそろ教育委員会や各学校が主体となって実施すべき時が来ているのではないだろうか。なぜなら、『2020 年度研究報告書』で言及したように [8]、文部科学省は「外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針」（令和 2 年 7 月、以下「指針」）に、次のように明記しているからである。

> 1．趣旨（一部抜粋）
> 外国人の子供たちが将来にわたって我が国に居住し、共生社会の一員として今後の日本を形成する存在であることを前提に、日本における生活の基礎を身に付け、その能力を伸ばし未来を切り拓くことができるよう、外国人の子供に対する就学機会の提供を全国的に推進することが必要である。
> 3．学校への円滑な受入れ
> （1）～（5）省略
> （6）高等学校等への進学の促進
> 外国人の子供が社会で自立していくためには、高等学校等において適切な教育を受けることが重要である。このため、高等学校等への進学を促進する観点から、教育委員会において以下の取組が求められる。
> - 中学校等において、 在籍する外国人の子供やその保護者に対し、早い時期から進路ガイダンスや進路相談等の取組を実施すること [9]　（筆者下線）

そこで、全国各地で開催されているガイダンスの実施団体に焦点を当て、全国の教育委員会がガイダンスにどのように関わっているのかについて調査した。

３．２　全国のガイダンス実施状況調査

調査資料は、中国帰国者支援・交流センターHP の「進学・進路情報」（2019～2021 年度）で、2021 年 7 月に下記サイトを閲覧し、当該時点で公開されている内容を基に実施状況を確認した。

- 2019 年度
  https://www.kikokusha-center.or.jp/shien_joho/shingaku/guidance/2019guidance.htm

---

[8] 具体的には『山梨県立大学地域研究交流センター2020 年度研究報告書』pp.13-27 の pp.26-27 を参照されたい。

[9] 文部科学省「外国人の子供の就学促進及び就学状況の把握等に関する指針」（令和 2 年 7 月 1 日）[https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/004/1415154_00003.htm, 20220321 閲覧]

- 2020 年度
  https://www.kikokusha-center.or.jp/shien_joho/shingaku/guidance/2020guidance.htm
- 2021 年度
  https://www.kikokusha-center.or.jp/shien_joho/shingaku/guidance/2021guidance.htm

表 3　教育委員会や地方自治体がガイダンスの主催もしくは共催している一覧

府・県	市・地区・会場	主　催	共　催
茨城県	―	（一般社団法人）つくば国際交流協会	茨城県教育委員会委託
群馬県	太田市	外国にルーツをもつ子どもたちのための支援研究会	太田市教育委員会
埼玉県	①　― ②川口市	①埼玉県、（公益財団法人）埼玉県国際交流協会、（公益財団法人） 埼玉県産業文化センター ②川口市	
神奈川県	厚木市、横浜市、相模原市、川崎市	（NPO 法人）多文化共生教育ネットワークかながわ事務局、神奈川県教育委員会との協働	
長野県	上田市、飯田市、安曇野市、長野市	各地域進学ガイダンス実行委員会 公益財団法人長野県国際科協会（ANPI）	長野県教育委員会
静岡県	焼津市	焼津市国際友好協会 焼津市市民環境部市民協働課	
愛知県	名古屋市	（公益財団法人）名古屋国際センター	名古屋市教育委員会
三重県	①四日市市　②桑名市 ③鈴鹿市　④津市 ⑤松阪市	①四日市市教育委員会指導課　②桑名市教育委員会 ③鈴鹿市教育委員会　④津市教育委員会 ⑤松阪市教育委員会　（各市）	
大阪府	豊能地区、三島地区、北河内地区、中河内地区、南河内地区、堺・泉北地区、泉南地区、大阪市	大阪府教育庁　市町村教育室	
兵庫県	神戸会場、西脇会場、明石会場、宝塚会場、姫路会場	兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、西宮市教育委員会、西脇市教育委員会、明石市教育委員会、宝塚市教育委員会、姫路市教育委員会、丹波篠山教育委員会（8市）	

調査の結果、ガイダンスは全国 47 都道府県のうち、23 都府県（宮城県、福島県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県、長野県、山梨県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、奈良県、福岡県、熊本県、大分県）で開催されていた[10]。表 3 は、教育委員会や地方自治体が主催もしくは共催しているところを抜き出した結果である。ガイダンスを開催している 23 都府県のうち、教育委員会が関わっているのは、8 府県（1 府・7 県）であった。表 3 中の黄色は、教育委委員会や地方自治体が主催しているところ（埼玉県、神奈川県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県）である。緑色は、教育委員会が共催しているところ（茨城県、太田市、長野県、名古屋市）である。

３．３　教育委員会へのアンケート調査

全国のガイダンス実施状況が明らかになったところで、山梨県の状況を確認するために、県教育委員会と在留外国人数の多い 10 市町（甲府市、中央市、甲斐市、笛吹市、南アルプス市、昭和町、都留市、北杜市、富士吉田市、韮崎市）[11]の教育委員会を対象に調査を実施した。

10　表 3 の基となる一次資料は川手・斉藤が作成。
11　出典は注 3 に記載、「山梨県内における市町村別在留外国人数」（2019, p.7）より。

≪調査概要≫

【1】趣　旨　　山梨県内では、文部科学省の指針を踏まえ、各教育委員会でどのような支援や取組が行われ、また今後検討しているか。

【2】調査方法　Google Form（2 種類作成、県「外国人児童生徒等の進路進学について」、市町「多言語による進路進学ガイダンス」）

【3】調査期間　2021 年 8 月～9 月

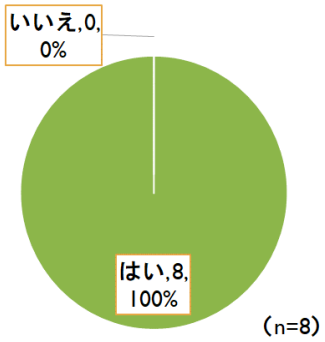
【4】調査対象　山梨県教育委員会、10 市町教育委員会（甲府市、中央市、甲斐市、笛吹市、南アルプス市、昭和町、都留市、北杜市、富士吉田市、韮崎市）

【5】調査項目　県　：11 問（ガイダンス、高校入試特別措置、中退率、高校卒業後の非正規雇用率、不就学、支援体制等）
市町：16 問（ガイダンス、コーディネーターの配置、日本の学校生活への初期適応指導、初期日本語指導教室、不就学、支援体制等）

【6】調査協力　11 教育委員会へ依頼、8 教育委員会より回答あり（回答率 73%）

本報告書では、「高校進学ガイダンス」に関する質問項目 4 つに絞り結果を報告する。

【質問 1】　外国人の子供やその保護者に対する多言語による進路進学ガイダンスは必要だと思いますか。



【質問 1】図 8 の結果から
回答があったすべての教育委員会が「ガイダンスは必要だ」と考えている。

図 8　多言語ガイダンスの必要性

【質問 2】　1 の回答理由を教えてください。

- 日本語を苦手とする外国人生徒や保護者の家庭には、進路に関する情報が伝わりにくいと考えられるため。
- 高校受験や高校のルール、就学支援の制度等、知らないことにより高校受験を諦めてしまうことがないよう、広く周知していく必要がある。また、日本で就労していくための在留資格には、高校卒業の資格が必要であるため、将来的に日本での就労を考えている生徒にはそのような事実とともに、高校への進学の道を広げる必要がある。
- 子供は学校生活の中で日本語が上達するが、保護者が日本語に堪能でなければ、進

学を希望していても内容が伝わらないため、多言語によるガイダンスは必要と考える。

- 日本の入試制度が複雑なところがあり、外国人の子供やその保護者に対して高校入学への戸惑いをなくしたり、進学率を向上させたりするためにも必要と考えるから。
- 日本の高校入試制度や学校の様子など詳細については、当該生徒だけでなく、保護者も母国語での説明があった方が理解していただけるため。
- 保護者の中には日本語の理解が難しい方もいるため、進学への理解をより深めるためには必要だと思う。
- 将来を考える上で、進路や進学に対して十分に理解することが重要であるため。
- 日本の教育制度について理解を深める機会となるため。

【質問 2】は、自由記述による回答であることから、KH Coder[12]（フリー・ソフトウェア）を用いてテキスト分析を行い、ガイダンスが必要だと考える理由について可視化する。

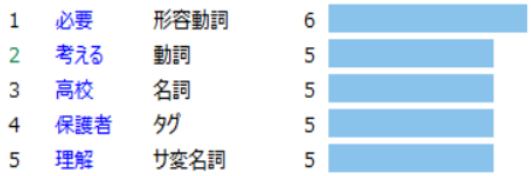


図 9　理由に現れた使用上位 5 語

【質問 2】図 9 の結果から
上位 5 語は、ガイダンスが必要だということ、保護者の理解が必要だということを示している。

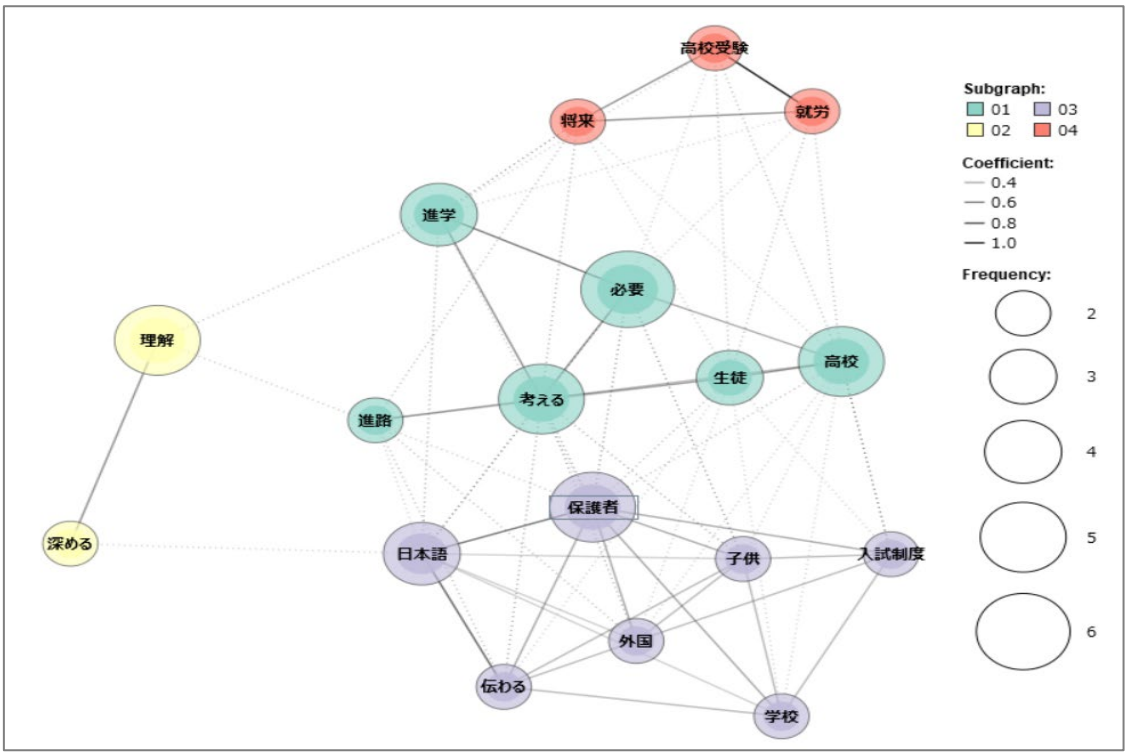


図 10　共起ネットワークでガイダンスが必要な理由を捉える

[12] KH Coder（version3.Beta.04）を使用した。（参考文献：樋口耕一（2020）『社会調査のための計量テキスト分析－内容分析の継承と発展を目指して－』ナカニシヤ出版）

【質問 2】図 10 の結果から
理由記述は、4 つの共起関係がみられ、図 10 右の Subgraph の色番号に基づき、ガイダンスが必要な理由を捉え直してみると、次のように総括できる。

- 高校進学/進路について考える必要がある
- 理解を深める機会となる
- 日本語が困難な保護者に入試制度を伝える必要がある
- 高校受験が将来の就労につながる

【質問 3】　これまでに貴委員会主催もしくは共催で多言語による進路進学ガイダンスを開催したことはありますか。

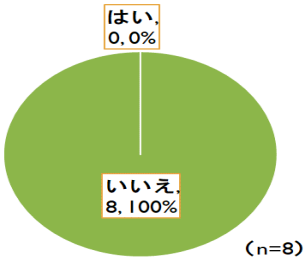


図 11　ガイダンス開催の有無

【質問 3】図 11 の結果から
山梨県では教育委員会の主催もしくは共催によるガイダンスは実施されていない。

【質問 4】　他の都道府県・市町村では教育委員会主催で多言語による進路進学ガイダンスが開催されています。このような他の都道府県・市町村での取組について、どのようにお考えですか。

- 進路進学ガイダンス開催のための調査・研究を進めるにあたり、他県の先行事例を参考にしたい。
- この地域にも外国人児童生徒がいるので、先進的な自治体の取組を参考にしたい。
- 市町村単位でのガイダンスの開催は難しいため、県単位での開催を望む。
- 大切なことだと思うが、現状、市としては県立大の多言語によるガイダンスを周知するなどの活動や、個別懇談時に通訳を各学校へ派遣し、進路進学の説明の補助をするなどで対応している。
- 本市では、外国籍の生徒が多くないため、日本語指導や母国語指導など個別の対応をしている。
- 各教育委員会の実情に応じて実施しているものと推察する。外国人の子供・保護者のニーズによく対応しているものと考える。
- 自治体ごとに実施することで、よりきめ細かな対応が可能となるため、大変有効な取組であると思う。
- 非常に有意義だと思う。

【質問 4】記述内容から
自分たちの問題として捉えている意見と、客観的な問題として捉えている意見がみられる。

４．　これからの支援体制に向けて

2015 年度から地域研究交流センター事業として実施してきた「多言語による高校進学ガイダンス」も 11 回目となり、参加者数は延べ 288 人（見学者含む）となった。高校卒業資格は、将来の在留資格に関わる要件となるため、この取組はキャリア支援につながる教育支援として継続する必要がある。そして、連絡を取って協力し合う〈連携〉から、実際につながり・つながる〈連係〉体制を検討し構築していく必要がある。最後に 15 年前に出版された佐久間（2006）の記述を引用し、山梨県の新たな支援体制に期待したい。

> 教育界は、異文化間教育や多文化教育が叫ばれる割に、異質なものへの取り組みはきわめて遅い。これからの人の流れや多様性の時代を思うにつけ、教育界が、教員が、学校が何よりも変わらなければならない。一部の熱心な教員や地域ボランティア、NPO のみに任せていては、グローバルな時代の子どもの教育は不可能なところまで来ている。　　（佐久間 2006「はじめに」iii-iv）[13]

【資料１】　2021 年度　活動記録

2021年度 〈実践〉 への取組	
第1回	2021年5月14日（金）16:30-18:00（前半）, 19:30-21:15（後半）　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、斉藤祐美、原田かおり（前半）、萩原孝恵、小林信子、斉藤祐美（後半）
第2回	2021年6月25日（金）15:00-18:00　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第3回	2021年7月2日（金）15:00-18:00　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第4回	2021年7月30日（金）15:00-17:40　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、斉藤祐美、原田かおり
第5回	2021年8月3日（火）15:0018:00　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第6回	2021年8月4日（水）13:00-17:40　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第7回	2021年8月8日（日）13:00-18:40　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第8回	2021年8月9日（月）13:00-17:00　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第9回	2021年8月10日（火）13:00-16:45　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第10回	2021年8月13日（金）13:00-16:30　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり、土屋賢一郎
第11回	2021年8月16日（月）13:30-17:30　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第12回	2021年8月17日（火）13:00-17:30　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第13回	2021年8月23日（月）13:00-18:00　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第14回	2021年8月26日（木）10:00-13:00　オンライン（zoom） 出席者：川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第15回	2021年8月30日（木）13:00-17:20　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第16回	2021年9月8日（水）13:00-18:30　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第17回	2021年9月9日（木）13:00-18:00　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第18回	2021年9月9日（木）19:30-24:00　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第19回	2021年9月10日（金）9:00-10:00　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第20回	2021年9月10日（金）15:00-18:00　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第21回	2021年9月10日（金）19:00-25:30　オンライン（zoom） 出席者：斉藤祐美、原田かおり
第22回	2021年9月12日（日）13:30-17:15　一宮保育園＆オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、小林裕、斉藤祐美、原田かおり、土屋賢一郎
第23回	2021年9月14日（火）20:00-23:40　オンライン（zoom） 出席者：萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第24回	2021年9月21日（火）11:30-14:15　オンライン（zoom） 出席者：孫玉芳（中国語通訳者）、斉藤祐美、原田かおり
第25回	2021年9月24日（火）19:30-20:10　オンライン（zoom） 出席者：今澤英彦（英語通訳者）、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第26回	2021年9月26日（日）10:00-11:00　オンライン（zoom） 出席者：小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第27回	2021年10月12日（火）19:30-22:00　オンライン（zoom） 出席者：川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第28回	2021年10月19日（火）20:00-23:00　オンライン（zoom） 出席者：[講師] 今澤悌、土屋賢一郎 [通訳者] 安達研仁（ポルトガル語）、パチェコ・アレックス（スペイン語）、塚田寛（スペイン語）、今澤英彦（英語）、孫玉芳（中国語）、田村いや（中国語） [スタッフ] 萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり
第29回	2021年11月7日（日）　リハーサル13:3016:30, スタッフ打ち合わせ16:30-17:00 一宮保育園＆オンライン（zoom） 出席者：[関係者] 小林裕 [講師] 土屋賢一郎 [通訳者] 安達研仁（ポルトガル語）、今澤英彦（英語）、孫玉芳（中国語） [スタッフ] 萩原孝恵、川手ちなみ、小林信子、斉藤祐美、原田かおり

[13] 佐久間孝正(2006)『外国人の子どもの不就学―異文化に開かれた教育とは―』勁草書房。

【資料２】　2021 年度　オンラインガイダンス周知活動

年/月/日	機関・場所(SNS,ML含む)等	周知内容
2021/10/11	山梨県教育委員会	チラシ配布依頼書郵送（理事長→山梨県教育委員会教育長）
2021/10/13	SNS（Facebook）	投稿とシェアの呼びかけ
2021/10/13	ガイダンス講師（今澤悌先生）	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/13	神奈川大学[redacted]	ファイルの送付と山梨出身の学生への転送依頼
2021/10/14	山梨県教育委員会（義務教育課：[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/14	甲府市多文化共生推進委員会	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/14	[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/14	学内掲示	チラシ掲示（学生への周知）
2021/10/14	南アルプス市教育委員会	チラシを手渡し市内小中学校と市内フリースクールへ配布依頼
2021/10/14	南アルプス市国際交流協会	チラシを手渡しと周知依頼
2021/10/14	Bond Place [redacted]	ファイル送付と周知依頼
2021/10/14	ブラジル人学校アルプス学園校長先生	ファイルの添付と周知依頼
2021/10/14	南アルプス市障害福祉課	チラシを手渡し周知依頼
2021/10/14	[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/14	山梨県立大学人間形成学科（池田先生）	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/14	オアシス子ども会（[redacted]	ファイルの送付とチラシの手渡しと周知依頼
2021/10/14	オアシス子ども会（子どもたちとスタッフ）	チラシの手渡しと周知依頼
2021/10/15	押原中日本語支援員（[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/15	[redacted]（ブラジル人学校アルプス学園ボランティア）	チラシと周知依頼
2021/10/15	SNS（Facebook）	投稿とシェアの呼びかけ
2021/10/15	ガイダンス前回通訳者[redacted]	チラシの手渡しと周知依頼　ファイルの送信
2021/10/16	ユニタス日本語学校教務主任[redacted]	ファイルの送付とユニタスで高校進学を目指している方への周知依頼
2021/10/16	ユニタス・県日本語コーディネーター[redacted]	ファイルの送付と開催中の日本語教室受講者への周知依頼
2021/10/16	[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/16	[redacted]（日本語ボランティア）	チラシの手渡しと周知依頼
2021/10/20	ガイダンス通訳者（安達研仁さん）	SNS（Facebook）への投稿のシェア依頼
2021/10/20	ガイダンス通訳者（孫玉芳さん）	SNS（Facebook）への投稿のシェア依頼
2021/10/21	未来への扉（参加者）	チラシの手渡しと周知依頼
2021/10/22	未来への扉（参加者）	チラシの手渡しと周知依頼
2021/10/22	ブラジル人住民	ファイルの送付
2021/10/22	ペルー人住民	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/22	山梨県立大学講師[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/10/22	山梨県立大学HP掲載	http://www.yamanashi-ken.ac.jp/news/31817.html
2021/10/22	石和中学校	石和中学校渡邊先生より依頼あり　チラシ郵送
2021/10/30	スペイン語圏の住民	ネッ配信番組"Nadaperusonal"にて参加呼びかけ
2021/10/30	SNS（Facebook）	ネッ配信番組"Nadaperusonal"をアップ
2021/11/2	山梨学院大学[redacted]	ファイルの送付と周知依頼
2021/11/9	SNS（Line）	ファイルの送付と周知依頼
2021/11/9	中国帰国者支援・交流センター[redacted]	ファイルの送付と周知依頼

ご協力いただいた団体＆みなさま（順不同、敬称略）

・山梨県教育委員会　・山梨県国際交流協会　・甲府市教育委員会
・中央市教育委員会　・笛吹市教育委員会　・南アルプス市教育委員会
・一宮保育園　・山梨県立大学地域研究交流センター
・山梨外国人人権ネットワーク・オアシス　・ソルデアミーゴ太陽の友だち
・土屋賢一郎　・今澤悌　・小林裕
・安達研仁　・佐々木ダニロ　・孫玉芳
・今澤英彦　・パチェコ・アレクシス　・田村いや

謝辞

たくさんの方々のご理解とご協力により、今年度も多言語による高校進学ガイダンスを開催することができました。またお忙しいなか調査にご協力くださいました教育委員会の先生方にもここに記して感謝の意を表します。ありがとうございました。